

作成番号:0214

=====

一般社団法人 日本侵襲医療安全推進啓発協議会 「会員向けメールマガジン」

=====

号数 : 2024-214

内容:医療器具の清掃・消毒の改善で医療関連感染(HAI)を減らすことは可能

出典:Investigating the effect of enhanced cleaning and disinfection of shared medical equipment on health-care-associated infections in Australia (CLEEN): a stepped-wedge, cluster randomised, controlled trial.

The Lancet. Infectious diseases. 2024 Aug 13; pii: S1473-3099(24)00399-2.

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/39151440/>

医療器具の清掃・消毒の改善によって、医療関連感染(HAI)を減らすことは可能であろうか。オーストラリア・Avondale University の研究者らは、クラスター無作為化比較試験「CLEEN 試験」を実施し、Lancet Infectious Diseases 誌オンライン版 2024 年 8 月 13 日号に掲載された。

オーストラリアの単一の公立病院で、2023 年 3 月 20 日～11 月 24 日に実施した。10 病棟を 5 つのクラスターに割り付け、ベースライン時はすべての病棟が共有医療器具(移動式便器、血圧計、点滴スタンド、輸液ポンプ)を通常どおり清掃・消毒し、割り付けられたクラスターごとに改善された清掃・消毒へ順次移行した。主要評価項目は、入院患者における HAI の発生率とした。対象患者は 5,002 例(男性 2,478 例、女性 2,524 例、年齢中央値 75 歳)。適切に清掃された共有医療器具の割合は、通常のコスト・消毒期が 18.2%(168/925 個)であったのに対し、改善された清掃・消毒期では 56.6%(487/861 個)であった。HAI の発生率は、通常のコスト・消毒期が 17.3%(433/2,497 例)であったのに対し、改善された清掃・消毒期では 12.0%(301/2,508 例)であった。調整後の HAI の相対変化率は-34.5%(オッズ比:0.62、95%信頼区間:0.45~0.80)であり、改善された清掃・消毒期で有意に HAI の発生率が低下した。

